

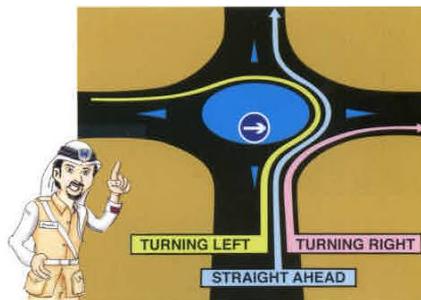
ラウンドアバウトの進行方法について

カタールでは、信号規制による交差点は少なく、その多くがロータリー式のラウンドアバウトになっています。

ラウンドアバウトでは反時計回りに進行し、目的の出口から離脱するという通行方式です。ラウンドアバウト形式の交差点は日本人にはなじみの薄いところ、カタール内務省交通局のパンフレットをもとに簡単にご紹介します。

【以下、パンフレット仮訳】

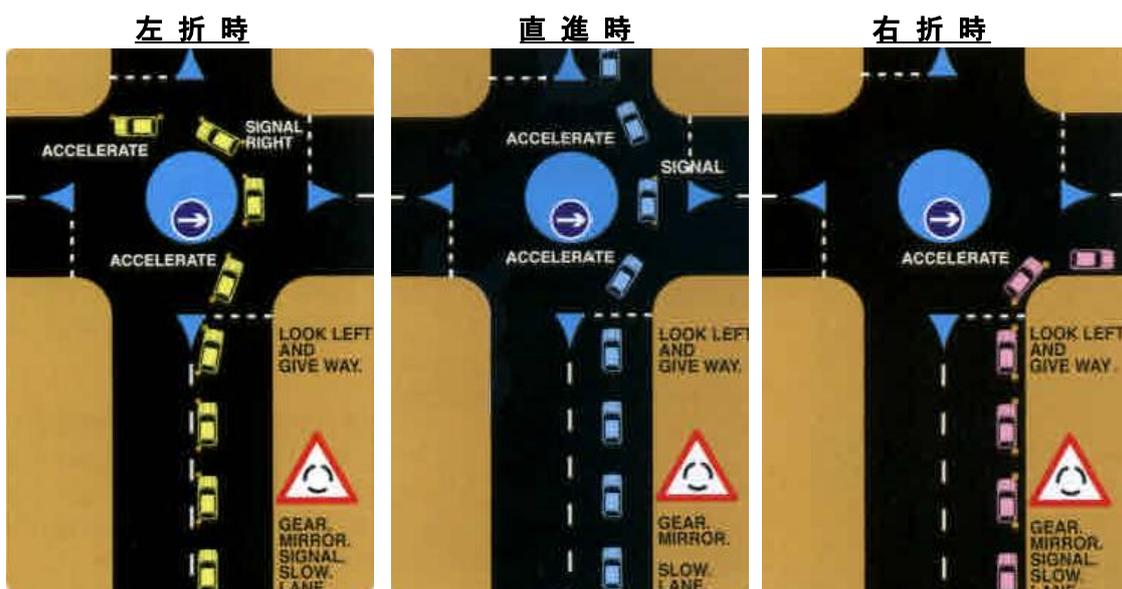
- ラウンドアバウトに進入する際は、左方直近の車両が優先となります。路上に他の車両が無いようであれば、そのまま進行してかまいません。
- 2車線以上あるラウンドアバウトに進入する際には、道路標識や路面標示で特に指示されていない限り、以下のように進行してください。



右折時 ラウンドアバウトには、一番右寄りの車線から進入し、ラウンドアバウト内でも、右車線を維持します。ラウンドアバウト進入時および通過中は、右折の方向指示器を点灯させます。

直進時 右寄り車線（3車線以上ある場合には、中央車線も可）から進入し、ラウンドアバウト内でも同じ車線を走行します。離脱したい出口の「一つ前の出口」を過ぎた時点で、右折の方向指示器を点灯させます。

左折時 ラウンドアバウトには、一番左寄りの車線から進入し、ラウンドアバウト内でも同じ車線を走行します。ラウンドアバウトに進入する際から左折の方向指示器を点灯させ離脱したい出口の「一つ前の出口」まで点灯したままにします。その後、方向指示器を右折に切り替え、離脱します。



※ 注1 内務省交通局係員の説明によれば、「内側車線が優先となる。360度のUターンをする場合は、一番内側（左寄り車線）を使用しなければならない」とのことでした。

※ 注2 実際に、過去の事故の事例では、中央の車線を先行していた車両に、内側車線を後進してきた車両が側面衝突した事案で、警察当局は、先行車両に100%の非があると判断しています。

※ 以上は参考です。カタール法令及び、カタール当局の判断・指示が優先します。